

Toride Art Project the 25th Anniversary

取手アートプロジェクト(TAP)、四半世紀！

これまでに触れてきたすべての人と、
これから触れるあなたへ、
アートプロジェクトと社会のこれからを
想像する場をひらきます。

演劇「象とまつ毛」

日程：2025年3月20日(木・祝)～3月23日(日)

※要予約

秋田貴雄・阿部健一・遠藤由子・大内伸輔・小林えつ・
齋藤優衣・富塚絵美・長津結一郎・伸恵・羽原康恵・
羊屋白玉・リンノスケ

座談「特別な日のちゃぶ台トーク」

日程：3月23日(日) 千秋楽公演終演後

参加無料

熊倉純子・佐野吉彦・日比野克彦・森司

展示「TAPクロニクル公開編集展」

日程：2025年3月16日(日)～3月23日(日)

参加無料

会場：たいけん美じゅつ場VIVA

(JR取手駅西口直結・アトレ取手4F)



演劇「象とまつ毛」

会場：VIVAパーク
日程：3月20日(木・祝)～3月23日(日)
(詳細は右ページをご覧ください)

※要予約

近すぎて/遠すぎて見えない25年。
2015年からの10年間、TAPの隣りにいた羊屋白玉とこの公演を機にTAPに初めて/再び触れた顔ぶれによる共同創作演劇。取手で出会った人びとの言葉、場所の体感、各地で表現活動に携わるそれぞれの現在地をきっかけに生まれた演劇。

クリエイションメンバーメッセージ

阿部健一 (ドラマトウルク)

手放すとか諦めるとか、生活とか幸福とか。置いてきたものを拾って歩く道のり、霧の中。

遠藤由子 (TAP事務局/アートマネージャー)

作れないことが私の形になっている。手を伸ばしても、触れるものは無い。どこにも。

齋藤優衣 (アカンパニスト)

川を度々越えては戻りを繰り返す、うごうごする人々に耳を澄ませたり沈黙したり、動いてみたり。

富塚絵美 (アートディレクター)

阿呆から目を離せない。観察したり差し出したり想いを馳せたり。なぜ阿呆にならない?なぜ手放せない?

長津結一郎 (リサーチャー)

今まさに手にした真実は、その瞬間に嘘になる。引き剥がせない過去からの因果。それでも生きていくために。

羽原康恵 (TAP包括ディレクター)

いつやめてもええねんで、を本当に信じてきたらうか。そう信頼した上で、はらっぱの自由を諦めない本音と執念。

羊屋白玉 (只今ソーシャルワーカー気味)

リリー・トムリンが言った“NOT SO COOL”の字幕は「そんな寛容じゃなかったよ」だった
TAPの夜明けは就職氷河期 ニートのパラダイス 滅びやすくも且つ現在

リンノスケ (俳優・舞踏家)

四半世紀の間に各地に散らばったパトンが取手に集まるさま。また再び散らばっていくさま。(類)『里見八犬伝』

クリエイションと出演:

秋田貴雄・阿部健一・遠藤由子・大内伸輔・小林えつ・齋藤優衣・富塚絵美・長津結一郎・伸恵・羽原康恵・羊屋白玉・リンノスケ

美術: サカタアキコ

音響: 庄子渉

テクニカル: 高木諒一

舞台監督: 岩澤哲野

写真撮影: 中川陽介

映像撮影: 古田七海、岡崎未樹

広報: 奥村圭二郎

制作統括: 羽原康恵

制作: 倉持美冴、五十殿彩子、榊原遥、田中天真音

キービジュアル・フライヤーデザイン: 小磯竜也

● エピソードキャスト

これまでのTAP&取手ゆかりの方々が語る、公演の場でふと思い出す記憶・思い出。そのお話をもとに、出演者による即興劇が立ち上がります。

★ 日替わりトーク「いっぽう、その頃取手では」

クリエイションメンバーがリサーチ・稽古中に会った、取手でそれぞれの活動をされている方々とのクロストーク。

座談「特別な日のちゃぶ台トーク」

会場: VIVAパーク

日程: 3月23日(日) 千秋楽公演 (14:00の回) 終了後 15:30頃～(約60分)

参加無料・予約不要・定員 80名

トーカー:

熊倉純子 (TAP実施本部長・東京藝術大学教授)

佐野吉彦 (NPO法人TAPオフィス理事長・安井建築設計事務所代表取締役社長)

日比野克彦 (アーティスト・東京藝術大学長)

森司 (TAP実施副本部長・アーツカウンシル東京事業部事業調整課長)

TAPで動き、支え、変化に立ち合いながら、さまざまな現場でアートと社会の関わりを触り続けてきたキーパーソンたちが、それぞれの「象の手触り」を持ち寄ります。
アートプロジェクトを通じてわたしたちが触れるものは?

展示「TAPクロニクル 公開編集展」

会場: とりでアートギャラリー3

日程: 2025年3月16日(日)～3月23日(日) 10:00～18:00

入場無料・予約不要

展示構成:

小野寺美穂 (アートディレクター・藝大食堂プロジェクトディレクター)

幅谷和真 (アーキビスト)

幅谷真理 (TAPプロジェクトコーディネーター)

誰も全容を見ていないTAPの25年には、今のTAPに関わるメンバーも知らない個々人の経験、風景がまだまだあるはず。そのエピソードを集めるため、クロニクルを公開編集! のんびり語らって思い出すためのちゃぶ台も常設。(3/23は公演会場へ出張予定)

体験エピソード・目撃談募集「TAPクロニクル 投稿編」

あなたが見ていたTAP、触れたTAPについて教えてください。小さくても、おぼろげな思い出からはっきりした記憶まで大歓迎。お寄せいただいたエピソードは、展示会場や今後の書籍などで紹介させていただくことがあります。25周年のTAPへのメッセージもお待ちしております! あなたのひとことから、また新たなTAPが始まるかも。



受付締切: 第一回 2025年3月9日(日)・第二回 3月23日(日) 展示終了まで
※展示会場でも随時書き込めます。

TAPクロニクル・リサーチ/インタビュー

過渡期にあったTAPのこの先を考えるため「未来は過去の中にある」ことをよりどころに続けてきた、これまでTAPに携わった人びとに会い直し話を聞く旅。2015年に羊屋白玉を再び取手に迎えたことからはじまり、2023年に阿部健一・齋藤優衣の参画を経て、今回の演劇制作へとつながっています。



*公演に至る一年間、クリエイションメンバーがこれまでのTAPにかかわる人びと・土地・ものごとに出会った記録を綴るnote
<https://note.com/tap25chronicle>

Ticket

【全席自由】

一般 前売 3,000円 / 当日 3,300円

取手割 (在住・在学・在勤) 2,000円

U25あるいは大学生 1,500円 ※含む大学院生

U18 500円

中学生以下 無料 ※席が必要な方はチケットをお求めください。

<ご祝儀歓迎！観に来てくださるのは大歓迎！

<TAPでの活動経験者の方のご来場も心からお待ちしております！

【チケットお取り扱い】

直接購入 次の場所でお手続きください。

たいけん美じゅつ場 VIVA 10:00~18:00

TEL 0297-85-5558 (休：水・第一日曜)

オンライン予約



<https://torioki.confetti-web.com/form/3654>

カンフェティとりおきシステムでご予約ください。

(当日現地清算)

※キャンセル規定がございますので必ずご確認ください。

※当日券情報は公式SNS (X: @toride_ap) などをご覧ください。

※公演中止の場合を除き原則としてチケットの変更・払い戻しはいたしません。

やむにやまれぬキャンセルの際には事務局までご一報ください。

【ご案内・注意事項】

※観劇に際して車椅子席や情報保障等をご希望の方はお気軽にお電話またはメールにてお問合せください。

※小学校低学年以下は保護者同伴にてご参加ください。

※公演収録・撮影を行う日は客席が写り込む可能性があります。

該当する公演はウェブおよび当日ご案内いたします。

※開演後はお席までご案内できない場合がございますので、当日はお時間に余裕を持ってご来場ください。

※発熱や体調が優れない時はご来場をお控えください。

Elephants and Eyelashes

たいけん美じゅつ場 VIVA

Access

茨城県取手市中央町2-5・アトレ取手4F

JR常磐線快速で上野から35分

JR・関東鉄道常総線「取手駅」下車・西口直結

周辺に有料駐車場・駐輪場あり

たいけん美じゅつ場は、取手市・東京藝術大学・JR東日本・株式会社アトレが連携し、アートによる新しい魅力づくりに取り組むことを目指し2019年12月にオープン。さまざまなすごしかたができる駅直結のまちなかの居場所、アート・コミュニケータ「トリばア」の活動拠点でもあります。東京藝大オープンアーカイブもありますので、公演の前後に是非どうぞ。 <https://www.viva-toride.com>



Schedule

	3月20日(木・祝)	3月21日(金)	3月22日(土)	3月23日(日)
演劇	12:30 ● 島田忠幸 (美術家) ★ 取手の坂道愛好会	13:30 ● 伊藤達矢 (TAP実施副本部長) ★ 平井亨季 (美術作家)	12:30 ● 佐野吉彦 (NPO法人TAPオフィス理事長) ★ ひとつ空の下で (UNSAM) (高校生ネットワーク)	14:00 ● 日比野克彦 (アーティスト)
	17:30 ● 岩間賢 (美術家)	18:30 ● さくらまや (演歌歌手・取手市PR大使)	17:30 ● 工藤悦子 (バベエテのママ)	千秋楽公演終了後 「特別な日のちゃぶ台トーク」 ★
座談				
展示	3月16日(日)~23日(日) 10:00~18:00 「TAPクロニクル公開編集展」@とりでアートギャラリー			

公演受付開始：開演の60分前 / 開場：開演の30分前
全7公演・上演時間 約90分 (予定)

- エピソードキャスト
- ★ 日替わりトーク「いっぽう、その頃取手では」ゲスト
- ★ アフターBarタイムあり

1999年にスタートした取手アートプロジェクト(TAP)は、2024年で25周年を迎えました。

ふりかえれば25年の間、ずっと変化を続けてきたTAP。

危機に直面するたび、社会が変わるたび、その時々居合わせた人びとが悩み考え、対話しながら、アートプロジェクトをつくってきました。

誰も、そのすべてを見てはいません。

でもそれぞれの人びとが、自分で選んでここに来て、その場にいた人と関わり、TAPを変化させてきました。

今回、演劇をつくるため取手に集まったメンバーは、そんなTAPを、全身を見ることができない大きな「象」、近すぎて見えない「まつ毛」になぞられました。

見えなくても、わからなくても、私たちは一緒に動き、変わり、つくってきました。

そして、これから先もそうありたい。

25年をさまざまに捉える3つの場で、まちでつくり生きること、

そしてあなたにとってのアートプロジェクトを見つけてみませんか。

主催：取手アートプロジェクト実行委員会 (取手市、東京藝術大学、アート取手、取手市教育委員会、取手市商工会、公益財団法人取手市文化事業団、一般社団法人茨城南青年会議所、取手美術作家展、特定非営利活動法人 取手アートプロジェクトオフィス) / 特定非営利活動法人 取手アートプロジェクトオフィス
助成：文化庁 令和6年度 文化芸術創造拠点形成事業 / 自治総合センター 令和6年度 地域の芸術環境づくり助成事業 / 野村財団
協力：アトレ取手 / UR都市機構 / 藝大アーツプロジェクト実習取手コース

【お問い合わせ】

取手アートプロジェクト実施本部

〒302-0001 茨城県取手市小文間5000 東京藝術大学取手校地福祉施設 藝大食堂2F

TEL: 0297-84-1874 (火・金13:00-17:00) FAX: 0297-84-1875

MAIL: tap-info@toride-ap.gr.jp WEB: <https://toride-ap.gr.jp>

取手アートプロジェクト (TAP=Toride Art Project) は、1999年より市民と取手市、東京藝術大学の三者が共同でおこなっているアートプロジェクトです。芸術による文化都市を目指す取手のまちをフィールドとして、アーティストの活動支援と、市民の芸術体験・創造活動の仕組みづくりにより、芸術表現を通じた新しい価値観の創造を目指して活動しています。



Toride Art Project

the 25th Anniversary

象とまつ毛

取手アートプロジェクト25周年記念演劇公演

Elephants and Eyelashes

Artwork by Tatsuya Koike